

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
哲学	1年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	井山 弘幸
授 業 概 要					
<p>この講義では、古今東西の哲学者や賢人の思想を、字句をたどって学ぶのではなく、「考える」ことの流儀を、諸君との対話を通して修得することをめざす。くよくよ考えたり、考え過ぎたり、あるいは、浅薄に考えるのではなく、「適切に」考える方法を、毎回掲げる異なるテーマを通じて伝えるものである。</p> <p>本講義では学生諸君に「哲学する」という行為を、自ら体験してもらうことを授業内容とする。保健医療を学ぶ場であることを考慮にいれて関連するケーススタディをおこなう。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「哲学」とは何かを理解する。 2. 論理的な思考とは何かを学ぶ。 3. 「問いを立て」「分類し」「根拠をさがし」「理路を判断する」方法を知る。 4. 医療看護、生命環境の分野の今日の問題に含まれるさまざまな「哲学」に出会う。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	知識はどこからやってくるのか？正しさの根拠は？（知識の哲学）				井山 弘幸
2	幽霊や死後の世界は存在するか？見えないものの存在について。（生命の哲学）				
3	言葉の正しい使い方は？ 論理の語法と言語。（論理の哲学）				
4	偶然か必然か？科学は決定論を、文学は運命論をもとめる。（現象の哲学）				
5	人はなぜ恋をするのか？有性生殖の生物学と求愛行動について。（恋愛の哲学）				
6	なぜ願望は果たされないのか？欲望の充足と幸福のはざままで。（希望の哲学）				
7	人はどこまで機械なのか？機械らしさとは、人間らしさとは？（機械論の哲学）				
8	運命は存在するか？なぜ人は占い師を信用するのか？（運命論の哲学）				
9	なぜ人は信じやすいのか？ 騙しの論理を回避しよう。（説得の哲学）				
10	なぜ人は物語るのか？物語の論理とその説得力。（ナラティブの哲学）				
11	キプロクオとは何か？笑いの12のテクニック。（笑いと創造性の哲学）				
12	生命操作は許されることか？にせ医師問題と民間医療の是非。（医療の哲学）				
13	実験によって何を知ることができるか？実験は論理的か？（科学の哲学）				
14	どのような社会が幸福をもたらすのか？幸福の論理を読む。（理想社会の哲学）				
15	わたしとは何か？わたしのことを知っているのか「私」なのか。（心の哲学）				
学 習 方 法					
<p>毎回テーマに関係する文献資料（ときには映像資料）を解説し、基本的な問いをさまざまな類似しているが異なる傍系の問いに問題変異（プロブレム・シフト）をさせて、グループディスカッションをまじえながら、指摘された問題群への解決に向かっていく。</p>					
評 価 方 法					
〔評価方法〕					
課題提出、レポートなど、評価の詳細は講義の初回に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
テーマごとに必要な資料は配布する。					
〔参考書〕					
『幸福の哲学』（ルートヴィヒ・マルクーゼ著、白水社）					
『パラドックス大全』（ウィリアム・パウンドストーン著、青土社）					
『考える力をつける哲学問題集』（スティーブン・ロー著、ちくま学芸文庫）					
『論理的思考力を鍛える33の思考実験』（北村良子著、彩図社）					
『論理的思考 最高の教科書』（福澤一吉著、サイエンスアイ新書）					
『パラドックスの科学論』（井山弘幸著、新曜社）※一部を掲げた。					